

## 長野県軽井沢町における外来生物 アカボシゴマダラ（タテハチョウ科）の春型の生息確認

栗岩竜雄<sup>1</sup>・大塚孝一<sup>2</sup>・堀田昌伸<sup>2</sup>

長野県軽井沢町で2014年8月に長野県内で初めて夏型が確認された外来生物アカボシゴマダラについて、2015年4月2日から10月27日までの期間、同所で65日観察を行った。観察日数の内、採取や目撃できた日数は27日で、その結果、春型の生息を2015年5月27日に初確認し、6月15日に夏型を初見し、春型雄13個体、雌1個体、夏型雄17個体計31個体を採取した。春型の終見は7月24日、夏型の終見は9月28日であった。なお、春型が白化した個体であったことから、軽井沢で採取されたアカボシゴマダラは中国亜種であることが再確認された。現地で繁殖しているかは確認できなかった。

キーワード：アカボシゴマダラ, *Hestina assimilis assimilis*, Nymphalidae, 外来生物, 春型, 生息確認, 軽井沢町, 長野県

### 1. はじめに

アカボシゴマダラ *Hestina assimilis* (Linnaeus 1758) は、タテハチョウ科 (Nymphalidae) に属し、中国亜種 *H. assimilis assimilis*、台湾亜種 *H. assimilis formosana*、奄美諸島亜種 *H. assimilis shirakii* の3亜種に分類される<sup>1)</sup>。奄美諸島亜種は南西諸島の奄美大島や徳之島などに分布し、環境省版レッドリストで準絶滅危惧 (NT) に選定されている<sup>2)</sup>。日本では、アカボシゴマダラは奄美諸島以外には従来生息していなかったが、1995年に埼玉県さいたま市、戸田市、朝霞市で採集され、1998年に神奈川県藤沢市で確認され、近年分布を急速に拡大しているとされる<sup>1,3)</sup>。現在までに南関東を中心に定着し、神奈川県その他、東京都、埼玉県、千葉県、茨城県、栃木県、群馬県で生息が確認され、近年、山梨県、静岡県でも確認されている<sup>4,5)</sup>。東京都近郊では5月中旬頃から成虫の春型が発生し、以後夏型の発生を合わせて年3回程度発生するとされる<sup>3)</sup>。これら関東を中心に分布を拡大しているのは、本来、済州島、朝鮮半島、中国大陸からベトナム北部に分布する中国亜種で、人為的に持ち込まれ放蝶されたものとされている<sup>1)</sup>。この亜種は「我が国の生態系等に被害を及

ぼすおそれのある外来種リスト」(生態系被害防止外来種リスト) に「重点対策外来種」として掲載されている(リストでは、「アカボシゴマダラ大陸亜種(名義タイプ亜種)」と表記)<sup>6)</sup>。

長野県では軽井沢町で2014年8月に初めて夏型の生息が確認された<sup>7)</sup>。2015年には軽井沢町の同じ場所で春型が初めて生息が確認されたので、その後の観察を含め概要を報告する。

### 2. 調査地と方法

調査場所は軽井沢町離山地区の標高約1,250mの、クリやヤマボウシなどを主体とする落葉樹の林冠部である(図1)。近隣の軽井沢の気象庁アメダスデータ(1981年から2010年)<sup>8)</sup>では、年平均気温が8.2℃、年平均降水量が1241.7mmである。調査は、2015年4月2日から10月27日までの期間、天気の良い午後2時から4時の2時間で行った。昨年の調査<sup>7)</sup>と同じ場所の林冠部約20m×20mの範囲の定点観察を行い、天気、目撃・採取等を記録した。採取した個体は長野県環境保全研究所自然環境部収蔵庫に標本として収蔵した。

1 〒389-0102 北佐久郡軽井沢町大字軽井沢 1374-115

2 長野県環境保全研究所 自然環境部 〒381-0075 長野市北郷 2054-120

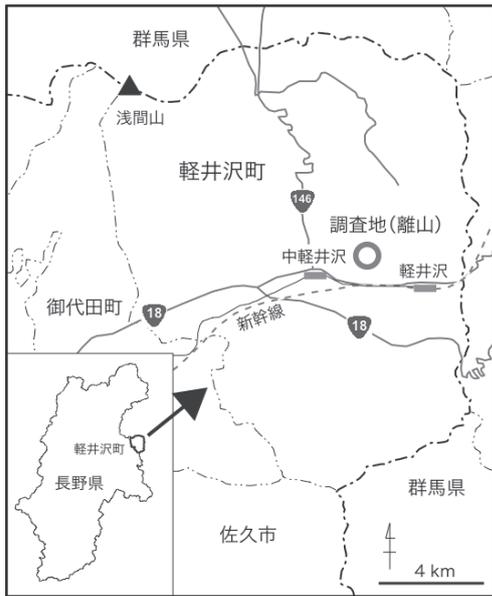


図1 調査位置図

### 3. 観察記録

軽井沢町離山地区で行ったアカボシゴマダラの観察記録を表1にまとめた。観察日数の内、採取や目撃できた日数は27日で、春型の生息を5月27日に確認した。6月15日に夏型を初見し、春型雄13個体、雌1個体、夏型雄17個体計31個体を採取した。春型の終見は7月24日、夏型の終見は9月28日であった。現地で繁殖しているかは確認できなかった。

表1 軽井沢町離山地区におけるアカボシゴマダラの観察記録 (2015年)  
観察時間は、午後2時から4時までの2時間

月日	天気	目撃・採取等	月日	天気	目撃・採取等
4月2日	晴れ	—	7月20日	晴れ	—
4月10日	曇り	—	7月21日	晴れ	—
4月26日	晴れ	—	7月24日	晴れ	春型1♂、夏型1♂ 目撃 (春型終見)
4月27日	晴れ	—	7月25日	晴れ	—
4月28日	晴れ	—	7月27日	晴れ	夏型1♂ 目撃
5月1日	晴れ	—	7月28日	曇り	夏型2♂ 目撃
5月2日	晴れ	—	7月31日	晴れ	夏型1♂ 採取、1♂ 目撃
5月6日	晴れ	—	8月5日	晴れ	夏型4♂ 採取
5月11日	晴れ	—	8月6日	雷雨～晴れ	夏型2♂ 目撃
5月13日	晴れ	—	8月7日	晴れ	—
5月14日	晴れ	—	8月10日	晴れ	夏型5♂ 採取、1ex 目撃
5月15日	晴れ	—	8月12日	曇り	夏型2♂ 採取
5月18日	晴れ	—	8月16日	晴れ	—
5月22日	晴れ	—	8月19日	曇り	夏型1♂ 採取
5月27日	晴れ	春型1ex 目撃 (春型初見)	8月24日	晴れ～曇り	夏型2♂ 採取
5月28日	薄曇り	—	8月31日	曇り一時雨	—
5月30日	晴れ	春型2♂ 採取、2ex 目撃	9月2日	晴れ	夏型1♂、1♀ 目撃
6月1日	晴れ	春型1♂ 採取	9月5日	曇り	—
6月2日	薄曇り	—	9月11日	曇り	夏型1♂ 目撃
6月4日	晴れ	—	9月12日	晴れ	—
6月7日	晴れ	—	9月14日	晴れ	—
6月10日	晴れ	春型2♂ 採取、1ex 目撃	9月15日	晴れ	—
6月11日	晴れ	春型1♂ 採取、1ex 目撃	9月23日	晴れ	夏型1♂ 採取
6月13日	晴れ	春型2♂ 採取、1ex 目撃	9月28日	晴れ	夏型1♀ 目撃 (夏型終見)
6月15日	晴れ	夏型1♂ 目撃 (夏型初見)	9月30日	晴れ	—
6月17日	晴れ	—	10月2日	晴れ	—
6月24日	晴れ	春型1ex、夏型1ex 目撃	10月3日	晴れ	—
6月28日	晴れ	春型1♀ 採取、3ex 目撃、 夏型1ex 目撃	10月4日	晴れ	—
7月4日	曇り	—	10月12日	晴れ	—
7月10日	晴れ	春型2♂、夏型1♂ 採取	10月18日	晴れ	—
7月12日	晴れ	春型3♂ 採取、1ex 目撃	10月24日	晴れ	—
7月13日	晴れ	春型1♂ 目撃	10月27日	晴れ	—
7月19日	曇り	春型1ex 目撃			

計 調査日数65日、目撃等日数27日、  
春型13♂1♀採取、夏型17♂採取

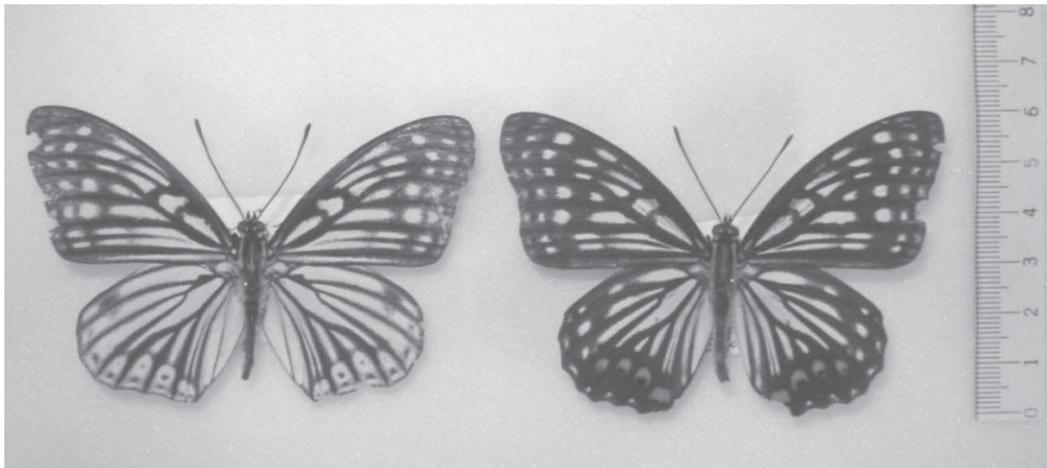


図2 アカボシゴマダラ標本 春型雄 5.30 (左), 夏型雄 8.10 (右). スケールの単位は cm

#### 4. 標本記録

標本記録 (成虫) は, 以下のとおりである.

長野県軽井沢町離山, 春型 1 ♂ 2015.5.30 (図2左), 春型 1 ♀ 2015.6.28, 夏型 1 ♂ 2015.8.10 (図2右). いずれも栗岩竜雄採取. 環境保全研究所自然環境部収蔵庫所蔵.

昨年輕井沢で採取されたアカボシゴマダラの夏型の後翅の赤い斑紋が輪にならないことで中国亜種であることが確認されていたが, 今回採取した春型の標本が白化した個体であったことから, 中国亜種であることが再確認された.

#### 文 献

- 1) 矢田脩監修 (2007) 新訂原色昆虫大図鑑第1巻 (蝶・蛾編) .336pp. 北隆館. 東京
- 2) 環境省 (2012) 第4次レッドリスト  
<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=15619> (2014年11月確認)
- 3) 日本チョウ類保全協会 (2012) フィールドガイド日本のチョウ .327pp. 誠文堂新光社
- 4) 国立環境研究所 進入生物データベース アカボシゴマダラ  
<http://www.nies.go.jp/biodiversity/invasive/DB/detail/60400.html> (2014年11月確認)
- 5) 柄澤保彦・中川祐喜・益子侑也・潮田好弘・須藤英治・山川稔 (2012) 茨城県におけるアカボシゴマダラ (チョウ目:タテハチョウ科) の記録, 茨城県自然博物館研究報告 15:3-5
- 6) 環境省 (2015)  
「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」(生態系被害防止外来種リスト)  
<https://www.env.go.jp/nature/intro/1outline/list.html> (2015年1月確認)
- 7) 栗岩竜雄・大塚孝一・堀田昌伸 (2015) 要注意外来生物アカボシゴマダラ (タテハチョウ科) を長野県軽井沢町で生息確認, 長野県環境保全研究所研究報告 11:37-40
- 8) 気象庁アメダスデータ: 軽井沢  
[http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/view/nml\\_sfc\\_ym.php?prec\\_no=48&block\\_no=47622&year=&month=&day=&view=](http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/view/nml_sfc_ym.php?prec_no=48&block_no=47622&year=&month=&day=&view=) (2014年11月確認)

Spring type of an alien butterfly, *Hestina assimilis assimilis*  
(Nymphalidae), recorded in Karuizawa Town, eastern Nagano Prefecture

Tatsuo KURIWA<sup>1</sup>, Koichi OTSUKA<sup>2</sup> and Masanobu HOTTA<sup>2</sup>

1 1374-115 Karuizawa, Karuizawa 389-0102, Japan

2 Natural Environment Division, Nagano Environmental Conservation Research Institute,  
2054-120 Kitago, Nagano 381-0075, Japan